

2026年1月15日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社

賞与制度の業績評価指標において サステナビリティ項目を導入

ー 社員一人ひとりのサステナビリティ意識向上を目指す ー

サントリーホールディングス（株）とサントリー食品インターナショナル（株）は、2026年より賞与制度の業績評価指標においてサステナビリティ項目を導入します。全社員を対象とした同様の取り組みは国内飲料業界では初[※]です。

※PwCコンサルティング合同会社調べ。調査は国内飲料企業大手各社の2025年末までの公開情報に基づく。

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」をパーパスとし、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。2019年には「サントリーグループ サステナビリティビジョン」を策定し、当グループのサステナビリティへの考え方と、重点取り組みテーマを示しています。なかでも「水」「容器・包装」「気候変動」の3テーマにおいては「環境目標2030」を掲げて取り組みを推進しています。

今回、社員一人ひとりのサステナビリティ意識を高め、サステナビリティ経営を加速していくことを目指し、全社員を対象とした賞与制度の業績評価指標においてサステナビリティ項目を新たに追加します。併せて、人事評価制度においても、部署や個人ごとに「サステナビリティビジョン」や「環境目標2030」に基づく目標を定めてその達成度合いを評価する仕組みを新たに導入します。

これからも「水」のサステナビリティの追求やグリーン水素などを活用したGHG排出量削減への取り組み強化、循環経済の推進、生物多様性の保全・再生など、持続可能な社会の実現に向け世の中を牽引する企業となるべく、サステナビリティ経営に取り組んでいきます。

●サントリーホールディングス（株）常務執行役員

サステナビリティ経営推進本部長 浅木 純 コメント

賞与制度にサステナビリティ項目を導入することにより、社員一人ひとりのサステナビリティに関する意識向上を図り、環境目標の達成への積極関与を促します。ひいてはグループ全体の事業の強靱性、フレキシビリティ、独自性、競争力強化にもつながると考えています。今後も、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営に取り組んでいきます。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/sustainability/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。